

陸羽東線の利活用促進に関する鳴子温泉地域懇談会（概要）

1 開催日時 令和4年11月16日（水） 午後7時～9時

2 開催場所 鳴子総合支所2階 研修室1・2・3

3 出席者

(1) 構成団体

No.	団体名	出欠
1	鳴子まちづくり協議会	○
2	鬼首地域づくり委員会	○
3	中山地区コミュニティ連絡協議会	○
4	鳴子地域づくり委員会	○
5	東鳴子地域づくり委員会	○
6	川渡地域づくり委員会	○
7	鳴子∞地域づくりネットワーク	○
8	鳴子温泉郷観光協会	○
9	玉造商工会	○
10	鳴子中学校 PTA	○
11	鳴子小学校 PTA	○
12	鳴子御殿場駅乗車券類発売管理組合	○

(2) 市側

No	役職	氏名	出欠
1	副市長	吉田 祐幸	○
2	市民協働推進部長	伊藤 文子	○
3	鳴子総合支所長	伊藤 正幸	○

4 事務局 市民協働推進部まちづくり推進課長 中鉢豊，同課長補佐 三澤香苗，
同主幹兼係長 千田貴憲，同主事 佐々木弥祐
鳴子総合支所地域振興課課長補佐 菅原直樹，同主幹兼係長 高橋貴紀

5 会議の概要

(1) 開会

- ・事務局が会議を進行。

- (2) あいさつ
- ・吉田副市長
- (3) 出席者紹介
- ・名簿に基づき事務局より紹介。
- (4) 説明
- ① 陸羽東線の利活用促進に向けた検討について
 - ・資料1, 参考資料2, 3に基づき事務局より説明を行った。
 - JR や国から示されている数字があるが, 第一関門とみるべき数字は何か。
⇒まずは生活利用や観光客の利用などにより, 1日の平均通過人員1000人以上を目標とする方向であるが, 懇談会の協議を踏まえて検討していきたい。
 - 参考資料2の利活用促進策のアイデアに, イベント列車の運行などがあるが, 乗車人数に計上されないと聞いている。
 - ⇒岩出山のPTAにより運行されたトロッコ列車に関しては, 乗車人数には計上されないと聞いているが, 全てのイベント列車が計上されないかどうかについては確認がとれていない。
 - ② 地方鉄道の現状について
 - ・資料2-1, 2-2に基づき事務局より説明を行った。
 - ③ 今後の進め方について
 - ・資料3に基づき事務局より説明を行った。
- (5) 意見交換
- ・**鳴子まちづくり協議会**
鳴子だけでなく, 最上など, 沿線地域が盛り上がる必要がある。まちづくり協議会から各地域づくり委員会に情報提供し, 意見交換してもらうなどして進めていきたい。
 - ・**鳴子御殿湯駅乗車券類発売管理組合**
鳴子御殿湯駅の維持費が年間200~250万程かかる。売り上げはどんどん減少しており, 維持するのが大変な状況である。
 - ・**鬼首地域づくり委員会**
鳴子温泉地域で唯一鉄道の通っていない地域ではあるが, 通学に使っている子どもはいる。これからはJRと地域の両者が一緒になって考える時代。鉄道の力はまだまだあると思うので, 今後の会議等で鳴子らしさを深めていきたい。
 - ・**鳴子小学校PTA**
かつては主な通勤手段の一つだったが, 現在はJR社員でさえ車で通勤している状況。旧古川市以外は少子化も進み, 学校の合併の話も出ている。長い視点から提案していかなければいけない。

・中山地区コミュニティ連絡協議会

ダイヤの改正で時間が合わなくなったり、マイカー通勤が増えたりして利用が減少した。新幹線と陸羽東線のアクセスも課題。今後の誘客方法、そして陸羽東線の維持について議論していきたい。

・鳴子中学校 PTA

子どもの減少が顕著だが、高校への通学には陸羽東線が欠かせない。市外高校へ通学している生徒もいる。なぜ鳴子が衰退したかをテーマに、鳴子中学校でもディスカッション等を行っている。中学生の柔軟な意見やアイデアをまとめていきたい。

・鳴子地域づくり委員会

子どもが減り、高校生の陸羽東線の利用人数が減っている。我々も、普段から自動車の利便性を享受してしまっている。利活用策について、地域づくり委員会の中でも色々な角度から考えてみたい。鉄道を使う頻度を高めていく工夫が必要である。

・玉造商工会

長年にわたり、震災やコロナ禍で、商店街や温泉街の呼び込む力がかなり落ちている。地域の商業・工業・農業の土台がないと観光は成り立たない。同じ方向を向いて知恵を出し合いたい。

・東鳴子地域づくり委員会

大崎市においては本腰を入れて体制作りをしたということは有意義で素晴らしい。ただ議論をしていては遅きに失するので、先手でやっていかなければ乗り遅れる。我々も建設的な意見を出していきたい。

・鳴子温泉郷観光協会

陸羽東線は鳴子温泉郷をはじめ沿線の観光地を支えてきた路線であると思っているが、懐かしさや鉄道ファンの思いだけでの存続が難しいことは理解している。二次交通の整備について検討してほしい。

・川渡地域づくり委員会

鳴子温泉の場合は観光の足として、より多く利用してもらうための魅力をつくっていくことに尽きる。おおさきの宝大使の方々の、陸羽東線に対するアイデアを聞けるような研修会があってもよいのではないかな。

・鳴子地区地域づくりネットワーク

陸羽東線が危機的状況になったのは自動車産業が発展したためだと思う。話合いの中で、これからの陸羽東線に向けて知恵を出し合いたい。

6 その他

- ・会議の公開範囲については、次回以降も意見交換を除いた部分とした。
- ・事務局より資料及び議事の概要について、後日、市ウェブサイトにて公開することの報告があった。

7 閉会